

第1グループ

(安全)

八小の ^{よしだ}吉田 ^{こうたろう}浩太郎 と申します。

それでは質問させていただきます。

しょうがい者の暮らしやすい街について

私は、登下校中や休日に学校や、交差点をよく見ましたが、音の鳴る信号やスロープなどのしょうがい者のための場所がありません。しょうがい者が暮らしやすい施設を増やした方がよいと思います。

そこで、こんな提案をさせていただきます。

学校にはエレベーターやスロープを、しょうがい者が良く通るような交差点には、音の鳴る信号機を設置します。それと、でこぼこしている道は車いすが通りやすいように整備します。うでの筋力が弱い人は、電柱のボタンがおしにくいと思うので、センサー付きのボタンを設置します。

そうすれば、しょうがい者が交差点で、あやまって赤信号を横断してしまう危険性が減ります。また、スロープの取り付けによって、一人でも段差に上がることができるようになり、だれもが安心して暮らせる街になると思います。

市では、しょうがい者の暮らしやすい街についてどのように考えていますか。教えてください。よろしくお願いします。

八小 吉田^{よしだ} 浩太郎^{こうたろう}さんの質問への答弁

「障がい者の暮らしやすいまちについて」

八小 吉田さんの質問にお答えいたします。

障がい者のかたはもちろん、市民の皆さんが安全で安心して暮らせることは、とても大事なことを考えています。

信号機は交通規制を伴うため、警察署が設置をしています。

ご提案いただきました音の鳴る信号機ですが、視覚障がい者の利用が多い盲学校や市役所などの公共施設を含む地域に設置されていて、全国に約2万機、市内に9機あります。

最近では、タッチ式スイッチが整備されてきていて、筋力が弱い人でも便利に利用できるようになってきています。

市では、これからも地域の皆さんや警察署などと協力しながら交通安全対策を実施し、障がい者のかたはもちろん、市民の皆さんだれもが安全で安心して暮らすことができるまちづくりを目指していきたいと思います。

また、吉田さんの提案のとおり、市内にはところどころひどい段差の歩道があり、障がい者、お年寄りや児童の皆さんの通行に危険なことがあります。このような歩道の段差を無くし、皆さんが安全で安心して通行できるように、「道のでこぼこ解消事業」と名付け

て、市内の危険な場所について順番に工事しているところです。

現在は松原や羽附町の方の歩道を工事しています。工事の前は、段差があり危険な歩道でしたが、今では安全に通行できるように生まれ変わっています。吉田さんも一度歩いてみてください。

また、皆さんの近くの危険な歩道についても、少しずつですが順番に工事していく予定です。楽しみにしていてください。

九小の ^{かねこ}金子 ^{とうこ} 權子 と申します。

それでは質問させていただきます。

災害時のひなんの不安解消について

2年前の台風19号のときは、市内でもひなんしなければならない人がいました。今、市のホームページやハザードブックには、防災について情報がありますが、ひなんした経験がほとんどないため、ひなん先での流れや過ごし方がわからず、不安な気持ちから、ひなんをためらう人もいるのではないかと思います。

そこで、こんな提案をさせていただきます。

1つ目は、ひなん先での流れや過ごし方を動画にしてホームページにアップし、日ごろから市民が集まる場所などでも見られるようにすること。2つ目は、夏休みなどを利用して、ひなん先となる学校や公民館で体験会をすることです。

そうすれば、子どもからお年寄りまで情報が伝わりやすくなり、いざという時に、不安を減らすことが出来るようになります。そして、ひなんすることをがまんしない人が増え、命を守ることに繋がると思います。

市では、災害時のひなんの不安解消についてどのように考えていますか。教えてください。よろしくお願いします。

九小 金子^{かねこ} 榎子^{とうこ}さんの質問への答弁

「災害時のひなんの不安解消について」

九小 金子さんの質問にお答えいたします。

令和元年台風第19号では、14か所の避難所に約1,090人が避難し、台風で不安な中、慣れない環境で過ごした方も多かったことと思います。

1つ目の提案として、動画で避難について知ってもらうようにすることは、素晴らしいアイデアだと思います。

避難がどういうものかは、学校などで行う出前講座や防災訓練で、直接お伝えしていますが、市民全員にお伝えするには多くの時間がかかってしまいます。そのため、動画で知ってもらう方法は、市でも重要だと考えていますが、防災の動画はまだまだ少ないため、今後の取組の一つとして、検討していきたいと思います。

2つ目の提案については、新型コロナウイルス感染症が拡大する前に、一部の小学校で、体育館や公民館に宿泊をする防災合宿体験が行われていました。

具体的には、アルファ化米などの非常食体験や体育館での寝泊まり体験などです。

現在は行われていませんが、感染拡大が収まってきたら、学校や

公民館と協力しながら、再び開催できるよう進めていきたいと考えています。

災害時の避難の不安をなくすためには、まずは自分や家族でどうしたらいいのかを考えて、もしもの時のための準備をすることが、自分自身と家族の安心につながります。

地震の時、台風の時には自宅に居ることができるのか、食料や水など何を備蓄しておくかなど、災害が起こる前に、日ごろから話し合っておいてほしいと思います。

七小の ^{あらかわ}荒川 ^{な お}奈音 と申します。

それでは質問させていただきます。

道路の街灯の設置について

私は、七小区の道路は街灯が少なく、暗くなると周囲や足元が見えにくくなるため、歩行者が通行するのに、かい中電灯がないと危険になっていると思います。

そこで、こんな提案をさせていただきます。

七小区の道路だけではなく、かい中電灯が必要になる道路全てに街灯の設置をお願いしたいですが、特に交通量の多く、大型車が通る道路、また歩道が狭い道路に、そして、川沿いの道路を優先的に街灯の設置をお願いしたいです。

そうすれば、街灯を設置することで、交通事故や犯罪を未然に防ぐことができます。また、下校時刻に辺りが暗くなっても、安心して通行することができると思います。

市では、道路の街灯の設置についてどのように考えていますか。教えてください。よろしくお願いします。

十小の ^{おぐら}小倉 ^{ともや}智弥 と申します。

それでは質問させていただきます。

街灯を増やすことについて

私は、時間を決めて帰ったり、夜、車で移動するときに街灯がついていない細い道があり、暗くて歩行者が見えづらく、危ないので安全に通行できるようにしてほしいと思います。

そこで、こんな提案をさせていただきます。

夜でも、歩行者と車の運転手が両方とも安全に通行できるように街灯を増やしてほしいです。

そうすれば、街灯を増やすことで防犯にもなって、交通事故や不審者が減り、安心して住みやすい館林になると思います。

市では、街灯を増やすことについてどのように考えていますか。教えてください。よろしくお願いします。

七小 ^{あらかわ} 荒川 ^{なお} 奈音さんの質問への答弁

「道路の街灯の設置について」

十小 ^{おくら} 小倉 ^{ともや} 智弥さんの質問への答弁

「街灯を増やすことについて」

七小 荒川さんと十小 小倉さんの質問は関連がありますので、合わせてお答えいたします。

皆さんが暗い夜道でも安心して通ることができるよう、現在、市内には約6,500基のLED防犯灯が設置されています。また、新しい防犯灯を毎年100基ずつ、設置をしています。

防犯灯を設置する場所は、暗がりや交通事故などが起こりそうな場所で、地域のことをよく知っている区長さんから要望があった場所に設置をしています。

ご提案いただきましたように、街灯が増えて道路が明るくなれば、児童の皆さんをはじめ、歩行者や車の運転手などが安心して通ることができるようになります。

しかし、明るくなったとしても、絶対に安全とは言えません。

犯罪に巻き込まれないためには、友人と一緒に行動し、人通りの多い明るい道を通るなど、自分の身は自分で守ることが大切です。

万が一、不審者に会ってしまった場合には、防犯ブザーを鳴らし、

大きな声で周りの人に助けを求めてください。

また、交通事故にあわないよう、日頃から交通ルールを守って登下校してください。

市では、地域の皆さんや警察、学校などと協力しながら、通学路をはじめとした危険な場所を点検し、交通安全や防犯対策を実施していますが、これからも、児童の皆さんをはじめ多くの方が安全で安心して暮らせるまちになるよう取り組んでいきたいと思えます。

第2グループ

(道路)

六小の ^{やっ}谷津 ^{ひろあき}尋麗 と申します。

それでは質問させていただきます。

道路の水たまりについて

私は、雨の日に歩いていて帰ると、車が横を通るときに水がはねて、ぬれてしまったことが何度もあります。道路に水たまりができないように対策をした方がよいと思います。

そこで、こんな提案をさせていただきます。
市と地域住民が協力して、側溝を掃除します。

そうすれば、側溝が掃除されていれば、水がたまらずスムーズに流れると思います。

市では、道路の水たまりについてどのように考えていますか。教えてください。よろしく申し上げます。

六小の 田部井 心都 と申します。

それでは質問させていただきます。

安全・安心な通学路について

私は、道路や通学路にへこんでいる部分があると、転んでしまうかもしれないし、道路の水たまりになっているところを車が通ると、水がはねて通行者がぬれてしまい、安心して登下校ができないと思います。

そこで、こんな提案をさせていただきます。

道路や通学路の大きくへこんでいる部分を直します。また、ドライバーは、雨の日に子どもの近くを通るときは、速度をおそくし、住民や近くの会社に、通学路や、通学時間を知らせて安全運転を呼びかけると良いと思います。

そうすれば、けがなく、安全・安心に登下校ができると思います。

市では、安全・安心な通学路についてどのように考えていますか。教えてください。よろしくお願いします。

六小 谷津^{やつ} 尋麗^{ひろあき}さんの質問への答弁

「道路の水たまりについて」

六小 田部井^{たべい} 心都^{こと}さんの質問への答弁

「安全・安心な通学路について」

六小 谷津さんと六小 田部井さんの質問は関連がありますので、合わせてお答えいたします。

ご質問のとおり、道路の一部がへこんだり、側溝に雨水が流れないと、雨の日に水たまりができてしまい、泥がはねたり、場合によっては転んだりする原因にもなります。

六小の近くの区画整理中の区域では道路を広くしたり、新しく道路を作ったりしていますが、全て整備するのはとても時間がかかるので、場所によっては舗装に切れ目が残っていたり、古い道路のままだったりして、雨水が溜まりやすい場所があるかもしれません。

このため、道路がへこんでいるところは市の職員が定期的にパトロールをして、水がたまらないように道路を平らに直しています。

市の職員のパトロールだけでは見つけれないこともありますので、もしも水たまりの場所や危ないところを見つけたりしたときは、これからも先生などを通して市の職員に連絡してください。

谷津さんの質問のとおり、側溝の中に泥や砂などがたまって水の

流れが悪いことも、道路に水たまりができる原因の一つです。コンクリートの重たいふたが設置されている側溝は、専門の会社に清掃をお願いしていますが、ふたの無い側溝は地域の皆さんに清掃への協力をしてもらい、清掃した泥を市が片づけています。

市は、きれいなまちをつくるため「アダプト制度」という仕組みをつくり、学校や公園、道路などみんなが使う場所は、みんなできれいにしようという取り組みを応援しています。

まちがきれいになると気持ちよく生活でき、安全にもつながりますので、皆さんのご協力をお願いします。

また、田部井さんの提案のとおり、通学路を走るドライバーや近隣のかたに安全運転を呼びかけることは、交通安全の意識向上につながるととても大事なことだと思います。自動車ではねるなどして歩行者に迷惑をかけてしまうと罰則を受けることがあり、ドライバーは十分注意して運転しなければなりません。

市では、地域の皆さんや警察署、学校などと協力しながら通学路の危険な場所を点検していますが、これからも皆さんが安全に登下校できるように通学路の安全対策に取り組んでいきたいと思っています。皆さんも交通事故防止のため、交通ルールを守ることにご協力をお願いします。

十小の ^{いのぐち}井野口 ^{あきひろ} 暁大 と申します。

それでは質問させていただきます。

登下校の安全確保について

私は、友達と一緒に登下校するとき、歩道の脇に草が伸びて歩道まではみ出しているのので、ガードレールギリギリを歩いていかないと通行できません。そして、歩道に草が伸びて見通しが悪いと、ゴミのポイ捨てや不法投棄の原因になると思います。

そこで、こんな提案をさせていただきます。

歩道まではみ出している草を土地の所有者に切ってもらったり、除草剤をかけてもらいます。

また、歩道そのものの道幅がせまいので、道幅を広くしてもらいます。そして、ゴミが捨ててあると先生に報告して、ひょうしきなどを立ててごみのポイ捨てを減らすといいと思います。

そうすれば、歩道の道幅を広くしたり、草を切ったりしてもらえば、安心安全に登下校ができ、また、ゴミのポイ捨てが減ればきれいな館林になると思います。

市では、登下校の安全確保についてどのように考えていますか。教えてください。よろしくお願いします。

十小 井野口 ^{いのぐち} ^{あきひろ} 暁大さんの質問への答弁

「登下校の安全確保について」

十小 井野口さんの質問にお答えいたします。

道路沿いから歩道まで草が伸びてきたりすると安全に登下校ができなかったり、車道側を歩かなければならないこともあると思います。

井野口さんの提案のとおり歩道を広くすれば、道路沿いから歩道に草が伸びていても歩きやすくなるかもしれません。しかし、道路の幅を広くするにはとても長い時間がかかってしまうので、簡単には広げることはできません。

そのため、市では皆さんが安全で安心して通れるように歩道の中から生えてしまう草については定期的に除草を行っています。あわせて、道路沿いの土地から歩道に草が伸びて通行の邪魔をしていたり、見通しを悪くしている場合は、土地の所有者に除草のお願いをしています。

これからも通学路をパトロールする時には、歩道へ伸びた草が邪魔になっていないか気をつけて確認していきますので、皆さんも登下校の時に危ないと思ったときには相談してください。

また、ゴミのポイ捨てを減らすために標識を立ててはどうかとい

う意見は、非常に良い提案だと思います。

実際に市では、ポイ捨て禁止や不法投棄防止の看板を作成しており、区長さんや環境保健委員さんを通して地区の皆さんにお渡しし、ポイ捨てが多い場所に設置してもらっています。

決められた場所以外にゴミを捨てないということは、みんなが快適に生活する上で守るべきルールです。ゴミのポイ捨てが減り、きれいなまちになるよう市も頑張っていきますので、井野口さんも今の気持ちを大切にして、一緒にがんばりましょう。

美園小の ^{よしだ}吉田 ^{まりの}莉野 と申します。

それでは質問させていただきます。

歩道の整備について

私は、大きい道路は工事をしているところをよく見かけるけれど、歩行者専用通学路は工事をしているところをあまり見かけないから転んでしまいけがにつながると思います。

そこで、こんな提案をさせていただきます。

近所の住人の意見などを聞いて直してほしいところや、きけんな場所を市に報告してしゅう復してもらうことを提案させていただきます。

そうすれば、登下校中につまずいたりしてけがをする人がへり、より安全に楽しく過ごせるようになると思います。

市では、歩道の整備についてどのように考えていますか。教えてください。よろしくお願いします。

美園小 ^{よしだ}吉田 ^{まりの}莉野さんの質問への答弁

「歩道の整備について」

美園小 吉田さんの質問にお答えいたします。

登下校でつまずいて、転んで怪我をしてしまうと学校生活を元気に過ごせず、悲しい気持ちになってしまいますね。

市では日々道路をパトロールして、道路の段差や側溝の蓋が割れるなど危ない場所を見つけるようにしています。見つけた段差などはその場で直せるものについては緊急用の材料を使ってすぐに補修をしたり、新しい蓋に交換をしています。すぐに直せないものについては、三角コーンなどの目印を置いて危なくないようにしてから、専門の工事会社に補修の工事をお願いしています。

また、パトロールのほかにも市民の皆さんから電話やメールなどで道路の危ない場所の連絡があれば、現地を確認して補修をしています。

これからも毎日のパトロールで危ない場所を早めに発見し、補修を行っていきますが、館林市の全ての道路を合わせると長さが約900キロメートルもあるため、危ない場所をすぐに確認できないこともあります。そのため、吉田さんの提案のとおり、地域の皆さんにも協力してもらいながら道路を補修していけば、より安全で安心

して歩ける道づくりができると思いますので、危ない場所を見つけたら相談してください。

第3グループ

(教育)

七小の ^{かわしま}川島 ^{ゆい}結衣 と申します。

それでは質問させていただきます。

タブレットにイヤホンやヘッドホンを導入することについて

私は、2021年に入って、タブレットを本格的に授業や自宅で使うようになりました。学校の授業では、スタディサプリを使用するときに、一人一人が見る動画がちがいます。なので、自分の見ている動画の音声が他の生徒が見ている動画の音声で聞こえにくくなっていると思います。

そこで、こんな提案をさせていただきます。

みんなが集中して、一人一人がやりたいことのできる個人のイヤホンやヘッドホンを導入することについてです。家に持って帰ってもいいようなものがないと思います。

そうすれば、スタディサプリなどの動画を見ているときに、学校や家でやっても、周りを気にせずに集中して学習ができると思います。

市では、タブレットにイヤホンやヘッドホンの導入についてどのように考えていますか。教えてください。よろしくお願いします。

七小 ^{かわしま}川島 ^{ゆい}結衣さんの質問への答弁

「タブレットにイヤホンやヘッドホンを導入することについて」

七小 川島さんの質問にお答えいたします。

最近、携帯型の音楽プレイヤーが広まり、街中でもイヤホンやヘッドホンを通して音楽を楽しむ人が増えています。音が周りに漏れないために、周囲の人に迷惑をかけずに音楽を楽しめるといった一定のメリットがあると思っています。

一方で、成長発達が著しい小学生の時期は、身体の機能が十分に備わっていない部分が多くあります。音の聞こえを任されている鼓膜や耳小骨（じしょうこつ）、蝸牛（かぎゅう）などの感覚器官もその一つです。

WHO（世界保健機関）では、携帯型の音楽プレイヤーの若者層への広まりにより、世界の若者の多くがイヤホン難聴やヘッドホン難聴などの音響性難聴（おんきょうせいなんちょう）の危険にさらされていると指摘していますが、特に小さな音量であっても長時間イヤホンやヘッドホンで聞き続けると、耳にはダメージが残るそうです。

また、授業でイヤホンやヘッドホンを使用していると、先生の指示が聞きとりにくいといった場面も見受けられます。こうした理由

から、小学生という身体的に未成熟な段階でイヤホンやヘッドホンの使用を控えたいと考えています。

川島さんは、学校や家庭で学習する際に周りの人に迷惑を掛けたくないという思いや学習に集中したいという思いから、イヤホンやヘッドホンが必要であると考えてくれました。

他者への思いやりや学習を大切にする気持ちがたくさん伝わってきて、とても嬉しく思いました。

教育委員会としては、先ほど述べた理由から、現時点ではイヤホンやヘッドホンを導入する考えはありません。しかし、学習環境を整えるということはとても大切なことです。

今後も学習端末を使用した授業などを見学させていただきながら先生方とも協議を進め、よりよい学習環境が作り出せるように努めていきたいと思えます。

貴重なご提案をありがとうございました。

八小の ^{にしかわ}西川 ^{りょうじ}凌史 と申します。

それでは質問させていただきます。

古くなったトイレについて

私は、古い校舎などのトイレの老朽化が進んでいて、水が流れにくくなっていたり、水道の蛇口がさびついていたたり、使いにくいと思います。

そこで、こんな提案をさせていただきます。

みんなが使いやすいように、手すりの取り付けや、段差をなくすなどの一部をバリアフリーにしたり、和式のトイレを洋式トイレに変更するなどの設備を増やせばいいと思います。

そうすれば、障害のある児童や様々な学年の生徒でも気楽に入れると思うし、そうじもらくになると思います。

市では、古くなったトイレについてどのように考えていますか。教えてください。よろしくお願いします。

八小 ^{にしかわ}西川 ^{りょうじ}凌史さんの質問への答弁

「古くなったトイレについて」

八小 西川さんの質問にお答えいたします。

まず、八小のトイレを見学させていただきましたがトイレの壁に清掃のマニュアルや標語などが掲示されており、学校を挙げてトイレをきれいに清掃し使おうとしてくれていることに、とてもうれしく感じました。ありがとうございます。

さて、八小は中央の校舎を平成18年度に改修し、あわせてトイレも新しくしました。

一方で、北側と南側の校舎はまだ改修できず、トイレも古いままです。そのために老朽化が進み、水が流れにくくなったり水道の蛇口がさび付いていたり、使いにくい状態が見受けられます。

また、家庭では洋式トイレが主流となっているので、学校の和式トイレを使うことに戸惑いを感じたり、清掃するとき水で洗い流すため、床が湿って不衛生に感じたりする人もいるかもしれません。

現在、教育委員会では学校の改修工事を計画的に進め、併せてトイレの改修も行っています。可能な限り早くトイレの改修工事を実施したいと思っておりますが、工事には多額の費用がかかるため残念ながらすぐには実施できない学校もあります。八小の北側と南側の校

舎のトイレもその一つです。計画に沿って順次トイレの改修を進めていますので、もう少しの間待っていただけるとありがたいです。

そして改修する際には、今回西川さんからご提案いただいた手すりの取り付けや段差をなくすなどのバリアフリー化、和式トイレを洋式トイレにするなどの設備の充実にも努めていきたいと思っています。

貴重なご提案をありがとうございました。

美園小の ^{はしもと}橋本 ^{しゅん}瞬 と申します。

それでは質問させていただきます。

英語教育の充実について

私は、今までの英語教育方法では、日常生活や仕事で十分に活ようできていないのではないかと思います。

そこで、こんな提案をさせていただきます。

小学校での英語課の設置、または、ALTの先生に休み時間など曜日ごとに教室にきていただき、少しでも会話ができる機会を増やしてもらいたいということです。

そうすれば、しょう来、活やくしたいと思っている子どもたちの役に立つと思います。そして、子どもたち全員が英語に対する苦手意識がなくなり日常生活に活かせると思います。

市では、英語教育の充実についてどのように考えていますか。教えてください。よろしくをお願いします。

美園小 ^{はしもと}橋本 ^{しゅん}瞬さんの質問への答弁

「英語教育の充実について」

美園小 橋本さんの質問にお答えいたします。

まず、橋本さんが館林市の英語教育の充実に関心をもち、質問してくれたことに強い意欲を感じ大変うれしく思いました。

館林市では、世界で起きている出来事を理解し様々な国の人々と協力しながら、将来、館林市のために活躍できる子ども達を育てたいと考えています。そのためには、橋本さんの言うように英語教育の充実を図ることはとても大切です。

今回、橋本さんが提案してくれた「小学校での英語科の設置」ですが、小学校では2020年度から3年生と4年生が外国語活動として、5年生と6年生が外国語という教科として、英語教育が導入されました。

ですが、小学校1年生、2年生を含め、全学年で英語科を設置するととなると現行の制度ではとても難しい状況です。こうしたことから館林市では、児童の皆さんがALTの先生方と少しでも多く会話ができる機会を設けようと今年度から「館林市版英語村プロジェクト」をスタートさせました。今年度は、他校に配置されたALTの先生方が一緒になってそれぞれの学校を訪問し、出身国の話をした

りゲームをしたりしてくれました。きっと橋本さんも美園小でたくさんさんのALTの先生方と交流し楽しんでもらったのではないのでしょうか。

館林市では、この「館林市版英語村プロジェクト」を通して、館林市で学ぶ児童の皆さんが英語に対する苦手意識をなくし、日常生活においても活かせるようになってほしいと強く願っています。来年度は、橋本さんのように英語に対する興味・関心や意欲を持っている人たちのために、さらに英語村プロジェクトを充実させていきたいと思っています。ぜひその時は大いにチャレンジしてみてください。

貴重なご提案をありがとうございました。